

[23_06]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1470155>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 23 (6), 1990-11-26. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：



お 知 ら せ

CHARGE コマンドについて

利用負担金情報を表示する CHARGE コマンドが使用できるようになりましたので、お知らせします。

当コマンドでは利用者単位、及び支払責任者単位に表示することができます。ただし支払責任者についての情報を表示できるのは、当コマンドの利用者自身が支払責任者として登録されている場合に限りです。どちらも月別の金額のみを表示する簡易表示と、その内訳まで表示する明細表示の2種類があります。金額はMSP、UTSの合計額であり、利用者単位の明細表示の場合にはそれぞれの利用明細を表示します。

また表示できる期間は、負担金の支払が国立学校校費等移算手続きによるものは、コマンド実行日の年の1月分から前月分まで、ただし実行日が3月以前の場合は、前年の1月分から表示できます。公立学校費、私立学校費等納入告知書によるものは、コマンド実行日の年の4月分から前月分まで、ただし実行日が4月以前の時は、前年の4月分から表示できます。

コマンドはMSPのTSSコマンド、及びバッチジョブとして実行できます。UTSでは使用できませんので御了承願います。

以下に、コマンド入力形式及び表示内容をTSS及びバッチジョブでの使用例と共に示します。なお、長期間に渡って当コマンドが使用できなかったことを、お詫びいたします。

コマンド入力形式

```
CHARGE [Payer] [[YYMM] [: [yymm]]] [Detail]
[?]
```

Payer ; 支払責任者についての情報を表示する。

指定がない場合は、コマンド利用者自身についての情報を表示。

YYMM : yymm

; 表示する期間を西暦年の下2桁と月で指定する。

; 省略した場合は最新(前月)の情報のみ表示。

表示画面において、使用月の頭に「*」が付いているものは、請求時の情報であることを示し、付いていないものは、まだ請求されていないことを示します。

なお、科研費等で請求を一定期間保留しているものについても、表示上は毎月*付きとなります。

Detail ; 明細情報を表示する。

省略時は月単位の金額のみ表示。

? ; コマンドの説明表示。

・ T S S での使用例

例 1) 前月分の自分の使用明細を表示する。

```

READY
CHARGE D
===== USER-NO.=A79999A SIYOU NAIYOU MEISAI ===== ($:YEN) =====
RIYOU-TUKI      JOBS                MSP                UTS
=====
90.06    BATCH, PROCESS        39        $5,359        3        $19
          TSS, SESSION        136       $20,828        25       $705
          DATASET(100KB/DAY)  766       $9,962       307      $4,004
          MASS-STORAGE(MB)    0           $0           -         -
          TOTAL                $36,149                $4,728
-----
*90.04-06  BATCH, PROCESS        100        $6,163        24      $11,511
          TSS, SESSION        292       $34,812       145      $8,239
          DATASET(100KB/DAY)  666       $24,343       193      $7,060
          MASS-STORAGE(MB)    0           $0           -         -
          TOTAL                $65,318                $26,810
-----
READY

```

例 2) 4 月分からの自分の負担金額を表示する。

```

READY
CHARGE 9004:
===== USER-NO.=A78888G RIYOU FUTAN-KIN ZYOUHOU == ($:YEN) =====
RIYOU-TUKI      SIYOU-      CANCEL-      KYOUTUU-      SEIKYU-      RUIKEI
                GAKU        GAKU        FUTANKIN      GAKU        (04-03)
=====
*90.04    $15,121        $0        $453        $15,600        $15,600
*90.05    $36,130        $0        $1,083      $37,300        $52,900
*90.06    $40,877        $0        $1,226      $42,200        $95,100
READY

```

例 3) 支払責任者の前月分について、実利用者までの詳細情報を表示する。

```

CHARGE PAY DETAIL
***** PLEASE WAIT A MOMENT *****

== PAYER-NO.=U79999A RIYOU FUTAN-KIN MEISAI ZYOUHOU =($:YEN)=

```

RIYOU-TUKI	USER-NO.	RIYOU-GAKU	SEIKYUU-GAKU	RUIKEI(01-12)
90.06	A77777A	\$4,907	-	\$179,555
	A76666A	\$9,748	-	\$153,370
	B75555A	\$22,114	-	\$32,573
	TOTAL	\$36,769	-	\$365,498
*90.04-06	A77777A	\$17,255	\$17,300	\$179,600
	A76666A	\$44,370	\$44,400	\$153,400
	B75555A	\$26,873	\$26,900	\$32,600
	TOTAL	\$88,498	\$88,600	\$365,600

・ バッチジョブでの使用例
 支払責任者についての全期間の月別金額をリストする。

```

ジョブ制御文
//A79999AC JOB ハ`スワ`ド,CLASS=A
// EXEC CHARGE
//SYSTSIN DD *
CHARGE PAYER :
//
  
```

実行結果

```

***** PLEASE WAIT A MOMENT *****
== PAYER-NO.=U78888A RIYOU FUTAN-KIN ZYOUHOU=(¥:YEN)=
RIYOU-TUKI RIYOU-GAKU SEIKYUU-GAKU RUIKEI(01-12)
=====
90.01          ¥159,158          -          ¥159,158
90.02          ¥180,122          -          ¥339,280
90.03           ¥47,934          -          ¥387,214
*90.01-03      ¥387,214          ¥388,100      ¥388,100
90.04           ¥60,263          -          ¥448,363
90.05           ¥80,225          -          ¥528,588
90.06           ¥59,784          -          ¥588,372
*90.04-06      ¥200,272          ¥200,900      ¥589,000
  
```

(システム運用掛 内線 2517)

(センターニュースNo.422, 平成2年8月6日発行)

FORT77・FORT77/VPの一部障害のお知らせ

FORT77およびFORT77/VPに、一部障害があったことが判明しました。障害の内容、障害の発生条件、障害のあった期間等は、以下のとおりです。

記

1. FORT77・FORT77/VPコンパイラ障害について

[現象]

翻訳時、JZK998I-U ID=40003で異常終了する、または
実行時、SOC4等で異常終了する、または
実行結果が正しくない。

[条件]

以下の条件をすべて満足したとき。

- ① 翻訳オプションOPT(3), XOPT(NOAMOVE)が指定されている。
- ② プログラム中にDOループが存在する。
- ③ ②のDOループ内にIF文が存在する。
- ④ ②のDOループ内に、③のIF文の実行に伴い実行されなくなる文が存在する。
- ⑤ ④の実行文に配列要素の引用がある。
- ⑥ ⑤の配列の添字式に除算演算がある。
- ⑦ ⑥の除算演算に使用している変数または配列要素が②のDOループ内で不変である。

[プログラム例1]

```
DO 1 I = 1, L
  IF ( . . . ) . . .
  .
  .
  .
  IRES = IXX (N/M)
  .
  .
  .
1 CONTINUE
```

[プログラム例2]

```
DO 1 I = 1, L
  IF (論理式1 .AND. IXX (N/M) .GT. 0 . . . )
  .
  .
  .
```

1 CONTINUE

備考

上記プログラム例1, 2の下線部分が実行されない実行文を示す。

プログラム例1 → IF文により下線の実行文がスキップされるケース

プログラム例2 → IF文中の論理式1が偽となり, それ以降が評価されないケース

なお, 論理式1に同一の配列要素IXX(N/M)の引用がある場合には本件は発生しない。

[障害のあった期間]

1986年1月～1990年8月27日

2. FORT77/VPでISHFT関数の結果が正しくないことがある。

[現象]

ISHFT関数の結果が正しくないことがある。

[条件]

以下の条件をすべて満足したとき。

- ① DOループ中のISHFT関数がベクトル化されている。
- ② ISHFT関数の第一引数の値が負である。
- ③ ISHFT関数の第二引数が, 負の整数である。
- ④ ISHFT関数の第二引数の評価の前で行うべき演算が加減算またはシフト, 論理演算である。
- ⑤ 翻訳オプションNOVPEが有効である。

[プログラム例]

```
DO 10 I = 1, N
.
.
.
M2(I) = ISHFT(M1(I), +8)
M3(I) = ISHFT(M2(I), -4)
.
.
.
```

10 CONTINUE

[障害のあった期間]

1986年1月～1990年8月27日

3. FORT77/VPで副プログラムに正しく引数を渡せないことがある。

[現象]

副プログラムに渡される引数が正しくないことがある。

[条件]

以下の条件をすべて満足したとき。

- ① DOループが部分的にベクトル化されている。
- ② ①のDOループ中に関数副プログラムまたはサブルーチン副プログラムの引用がある。
- ③ ②の副プログラムの実引数に複素数型または倍精度複素数型の変数を使用している。
- ④ ③の複素数の虚部がベクトル化された部分でも使用されている。
- ⑤ ③の複素数の実部はベクトル化されていない部分でのみ使用されている。

[プログラム例]

```

      COMPLEX C
      COMMON Q
      DO 10 I=1, N
        .
        .
        .
M      C=COMPLEX(Q, A(I)+B(I))
S      CALL SUB(C)
        .
        .
        .
10 CONTINUE

```

[障害のあった期間]

1986年1月～1990年8月27日

4. FORT77/VPでEQUIVALENCE文使用時、結果が正しくないことがある。

[現象]

EQUIVALENCE文使用時、結果が正しくないことがある。

[条件]

以下の条件をすべて満足したとき。

- ① DOループがベクトル化されている。
- ② ①のDOループの外側にDOループが存在する（二重以上の多重ループの内側である）。
- ③ ①のDOループ中にEQUIVALENCE文に存在する配列データを使用している。
- ④ ③の配列データの引用順序が定義先行である。
- ⑤ ①のDOループがアンローリングの最適化が実施されている。

[プログラム例]

```
EQUIVALENCE (A(1, 1), . . .)
.
.
.
DO 10 J = 1, N
DO 10 I = 1, N
.
.
.
A(I, J) = . . .
      = A(I, J)
.
.
.
10 CONTINUE
```

[障害のあった期間]

1986年1月～1990年8月27日

(ライブラリ室 内線2508)

(センターニュースNo 424, 平成2年9月5日発行)

大学間電子メール (N1MAIL) の新規加入について

岐阜大学情報処理センターが大学間電子メールの運用を開始しました。現在、メールの交換が行える機関は以下のとおりです。

宛先ホスト名	機関名
HOKKAIDO	北海道大学大型計算機センター
TOHOKU	東北大学大型計算機センター
TOKYO	東京大学大型計算機センター
NAGOYA	名古屋大学大型計算機センター
KYOTO	京都大学大型計算機センター
OSAKA	大阪大学大型計算機センター
KYUSHU	九州大学大型計算機センター
FUKUI	福井大学情報処理センター
YAMAGUTI	山口大学情報処理センター
STENAG	名古屋大学空電研究所
GIFUDAI	岐阜大学情報処理センター

なお、名古屋大学大型計算機センター、九州大学大型計算機センターのユーザのアドレスは7桁で、その他の大型計算機センターは6桁であるため注意が必要です。

例 A49999A@NAGOYA 名古屋大学大型計算機センターのユーザ
A599990@KYOTO 京都大学大型計算機センターのユーザ

(ネットワーク掛 内線2542)

(センターニュースNo.424, 平成2年9月5日発行)

INSPEC収録雑誌データベースの更新について

8月23日にINSPEC収録雑誌データベースINSPEC-Jを1990年版に更新しました。収録雑誌数は5,931件です。

参考文献

1. 篠原ほか：情報検索システムAIRの改訂について，九大大型計算機センター広報，Vol. 20. No.3. 1987. pp. 211-238

(データベース室 内線2510)

(センターニュースNo.424, 平成2年9月5日発行)

X11R4の暫定公開について (UTS)

Xウィンドウシステムの最新版であるX11リリース4を暫定的に公開します。ライブラリは/usr/libに、インクルードファイルは/usr/include/X11に、クライアントは/usr/local/bin/X11に置いています。バグレポートはmailxを用いてX11@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jpまでお送り下さい。

なお、従来公開していたX11リリース2のライブラリはlibX11R2.a, libXR2.a, libXawR2.a, libXtR2.aにそれぞれ名前を変更し、インクルードファイルは/usr/include/X11R2に移動しました。

(ライブラリ室 内線2508 E-mail:X11@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp)

(センターニュースNo.424, 平成2年9月5日発行)

利用の手引き「TSS編(第2版)」の増刷について

在庫が無く利用者の方々にご迷惑をかけていました。今年3月発行の利用の手引き「TSS編(第2版)」の増刷が出来ました。希望される方は、氏名、身分、登録番号、所属を記入した文書で共同利用掛宛お申込みください。

(共同利用掛 内線2515)

(センターニュースNo.424, 平成2年9月5日発行)

MSPからUTSへのログイン機能（TELNETコマンド）の暫定公開について

標記機能を9月10日（月）から暫定公開しています。これはMSPからTCP/IPプロトコルを利用してUNIXホストにリモートログインできるものです。起動コマンド名はTELNETです。暫定運用期間中はリモートログインできるホストはUTS（kyucc）のみです。以下に述べるような利用上の制限や利用に際して工夫、注意を要する点がありますのでニュースを一読の上利用してください。F6680系の富士通の専用端末、TTY端末、N-1経由の端末で利用でき、漢字の入出力、図形表示も行うことが可能です。

1. 利用に際して前もって注意する事項

- ・富士通の専用端末はアスキー文字が表示できる日本語端末を使用してください。パソコン端末などのTTY端末では漢字はJOIS、あるいは新JISをサポートしたエミュレータを利用してください。新JISの場合は“JTty JIS83”というコマンドをMSPのREADYで入力しておく必要があります。N-1経由の端末はローカルホストに接続して漢字の入出力ができる状態にしておきます。
- ・MSPでは入力文字はローカルエコーしていますが更にUTSにログインすればUTSからのエコーバックもあります。UTSからのエコーバック機能を抑止するには“stty -echo”をUTSにログイン後、入力します。なお、パスワード等の入力については十分ご注意ください。
- ・UTSでは漢字はEUCコードのみをサポートしますので、漢字の入出力をする場合は必ず“jstty -u -t -j”を入力しておいてください。漢字の入力は端末の漢字変換機構（パソコン端末はATOKなど）を利用してください。
- ・UTSのフルスクリーンアプリケーションは利用できません。vi(jvi)、emacs、tenplus、browse、less、vnews、talk、phoneなどは利用できません。エディタはラインエディタ(jex)、JUNETのニュースを読むにはreadnewsを、会話にはwriteコマンドをお使いください。
- ・パソコンなどのTTY端末ではそれぞれエミュレートしている端末タイプをUTSログイン後選択してください（例えばvt100など）。またテクトロ4014等をエミュレートしていれば図形表示が可能です。ページャはpgを指定してください（setenv PAGER pg）。
- ・F6683などの専用端末（N-1経由でない）で利用する場合は、テクトロ4014などの図形作画シーケンスは表示できません。単なるUTSのTTY端末として取り扱われます。端末タイプは“tty”を指定してください。ページャはcatまたはpgを指定してください。
- ・F6683などの図形表示可能なFNVT端末ではテクトロ4014などの図形作画シーケンスは端末に表示が可能ですので、S、Mathematica、gnuplotなどで図形表示を行うことができます。端末タイプは“tty”を指定してください。ページャはcatまたはpgを指定してください。
- ・グラフィックアプリケーション起動中に図形表示を行う場合、グラフィック端末タイプはテクトロ4014などを選択してください。なお、アプリケーションによりグラフィック端末タイプの指定方法は異なるのでそれぞれのオンラインマニュアル等を参照してください。

- ・TELNETコマンドモードに移行するためにはF6683などの端末の場合はPA1キーを押下してください。TTY端末の場合はブレークキーを押下してください(TSSPFDエミュレータ(1)を用いている場合はSTOPキーを押す)。N-1経由の端末は一回のブレーク信号でN-1の仮想端末モードになりますので、TELNETコマンドモードにするためには更にもう一度ブレーク信号を送出する必要があります。なお、FNV Tを利用して当センターを利用している場合は1回のブレーク信号送目でTELNETコマンドモードに移行します。
- ・端末には制御コードを含めてできるだけ透過的にコードを出力していますが、端末からの入力はかなり制限を受けます。制御文字は一般にはUTSには届きません。このためどうしてもエスケープや \hat{c} 、 \hat{d} などをUTSに送りたいときには、いったんTELNETコマンドモードに移行して制御文字を送信する必要があります。制御文字の送信については2. TELNETコマンドモードを参照してください。
- ・端末からの入力に対してホストからの応答があって、端末からの次の入力を受け付けるようにTELNETコマンドを実装しています。応答のないコマンド(mailx, write, jexなど)の場合に対処するためにタイムアウト時間をユーザが設定可能にしています。初期値は20秒になっています。上記のコマンドを利用する場合はTELNETモードでタイムアウト時間を短くします(例えば0.5秒程度)。その他のコマンドを利用する場合は初期値程度に大きくしておく方が使い勝手はよいでしょう。

2. TELNETコマンドモード

オペランドなしでTELNETコマンドを起動するかTELNETコマンドモード移行キーを押せば、TELNETコマンドモードに移行します。この状態で“?”または“help”すればヘルプメニューが表示されます。以下にヘルプメニューを示します。%以降は説明用の注釈です。

```
TELNET>?                                %TELNETコマンドモードで?を入力
open host_name                           %リモートホストにコネクションを張る。
close                                     %コネクションを切断
quit                                      %TELNETコマンド終了
timeout N(#100msec)..initial value(N=200) %タイムアウト時間設定(timeout 10で1秒に設定)
/tss_command                             %MSPのコマンド実行
help or ? : show this menu              %ヘルプメニュー表示
%string : send characters                %文字列送信
esc : send escape_code                  %エスケープ文字送信
ca : send control-a                     %^A (コントロール-A)を送信
cb : send control-b
: :
: :
cz : send control-z
```

例えば間違えてemacsを起動した場合はTELNETコマンドモードにしてcxを入力して、もう一度TELNETコマンドモードにしてccを入力すれば $\hat{x}\hat{c}$ を送信したことになり、emacsから抜けてシェルモードに戻ることができます。

3. パソコン端末との間のファイル転送について

バイナリ転送はできません。またkermi tなどの手順付きの転送も利用できません。簡易

型ファイル転送のみをサポートしています。すなわちUTSへのファイルのアップロードはUTS側でラインエディタjexを起動してインプットモードにしておいてからパソコン側からファイルを転送します。なお、端末エミュレータは先行入力不可状態で利用の方が使いやすくなります。また、インプットモードにしてからタイムアウト時間は0.5秒程度に短くします。エディタ終了後はタイムアウト時間を初期値に戻します。なお、パソコンから転送するテキストは特にmailxコマンドなどの入力になるものはあらかじめ78文字（漢字で39文字）程度で改行コードを入れておく必要があります。1行最大255文字まで入力できます。

UTSへの転送例（端末エミュレータは参考文献（1）を利用；%以降は注釈）

<u>%jex mail.txt</u>	%行エディタjexを起動
"mail.txt" [New file]	%stopキーを押してTELNETコマンドモードにする
:No lines in the buffer	
TELNET> <u>timeout 5</u>	%タイムアウト時間を0.5秒に設定
: <u>set nu</u>	%行番号を表示する
: <u>a</u>	%アペンドモードにする
1 accde	%f・1キーを押してファイル転送開始
2 漢字のテスト	
ファイル転送を終了しました。	
3_	%.（ドット）を入力してアペンドモード終了
: <u>wq</u>	%wqを入力してファイルに保存して終了
"mail.txt" [New file] 3 lines, 40bytes	
%	

なお、MSPとUTSとの間のテキストファイル転送は4.、5.に説明するログデータセットと自動走行スクリプトデータセットを利用して行うことが可能です。また、スプール間転送（2）か、FCAT（3）を利用してファイル転送（テキスト、バイナリ両方可）を行うことができます。

4. 画面入出力の履歴（ログ）

TELNETコマンドは端末画面のログが採取できます。TELNETコマンドを投入する時に次のようなオペランドをつけます。

```
TELNET kyu-cc > [ログデータセット名] ……上書きの場合
TELNET kyu-cc >> [ログデータセット名] ……追加書きの場合
```

ログデータセット名を省略するとTELNET.TEXTというMSPのデータセットに採取されます。なお、“>”、“>>”はログを採取する場合は省略できません。データセットは既存でも新規作成のデータセットでもかまいません。しかし、新規データセットではレコード長などの指定ができないのでできるだけ予め作成しておいてください。TELNETコマンドを終了するまでログが採取されます。

5. 自動走行スクリプト

TELNETコマンドを起動して入力したいコマンド列をあらかじめMSPのデータセットに作成しておき、TELNETコマンド起動時にデータセットを指定すれば自動的に入力をシミュレートします。定型作業などに活用できます。

```
TELNET kyu-cc < [自動走行スクリプトデータセット名]
```

データセット名を省略するとTELNETRC.TEXTから読み込みます。このデータセット

はNONUM属性(行番号なし)で作成しておく必要があります。なお、ログデータセットと自動走行スクリプトデータセットは同時に指定可能です。

TELNET kyu-cc <[自動走行スクリプトデータセット名] > [ログデータセット名]

TELNETRC.TEXTの記述例

```
a79999a
xxxxx
vt100
stty -echo
jstty -u -t -J
setenv PAGER pg
setenv EDITOR jex
setenv VISUAL jex
who
```

注) 空行があると空リターンが
入力されたときみなされる

6. 簡単な使用例(端末エミュレータは参考文献(1)を利用; %以降は注釈)

```
READY
JTTY JIS83                %端末の漢字コードを新JISコードにする
CHANGED TTY KANJI CLASS(JIS83) %エミュレータ側も変更する必要がある
telnet kyu-cc            %UTSにログインする
KYUSHU Univ. Telnet System (version 1.0 08/08/90)
  escape key             is PA1(break).
  type "?" or "help"    ,for showing help-menu.
  type "stty -echo"     ,after logging in remote host.
  type "jstty -u -t -J" ,when using KANJI(at kyu-cc).
trying .....

UTS TISP telnetd kyu-cc

login: a79999a            %ログイン名を入力
a79999a
Password:xxxxxx         %パスワード入力

**** statistics and charges ( a79999a ) ****
**      total size of reserved files   =   43150 KB   **
**      total charge                    =   210627 yen  **
*****

There is news.

Terminal Type: vt100     %端末タイプ入力
vt100
% stty -echo            %UTSからのエコーを抑止する
stty -echo
% jstty -u -t -J       %UTSの漢字コードを設定する
% setenv PAGER pg      %環境変数PAGERを設定
```

```
% setenv EDITOR jex %環境変数EDITORを設定
% setenv VISUAL jex %環境変数VISUALを設定
% who -Tu %WHOコマンド起動
a79998a + ttyp000 Aug 24 14:16 1:06 10505
b79995a - ttyp001 Aug 24 18:04 1:45 16860
c79935a + ttyp002 Aug 24 20:36 . 20236
% readnews kyushu-u.cc -rx %JUNETニュースを読む
```

 Newsgroup kyushu-u.cc

Article 311 of 311, Tue 14:44.
 Subject: centernews 423-2(renrakusyo kousyuukai)
 From: a70052a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp (Publicity @ Computer Center, Kyushu University,
 Fukuoka, Japan)
 (25 lines) More? [ynq]y
 九州大学大型計算機センターニュース No. 423-2

連絡所講習会の開催について

~~~~~  
 省略  
 ~~~~~

:q
 q

Article 310 of 311, Tue 14:42.
 Subject: centernews 423-1(network no ichijiteishi)
 From: a70052a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp (Publicity @ Computer Center, Kyushu University,
 Fukuoka, Japan)
 (18 lines) More? [ynq] q

```
% mailx a79999a %メールを出すためにmailxコマンドを起動
```

```
Subject: testmail  

testmail
```

```
TELNET>timeout 5 %TELNETコマンドモードにして  

TELNET> タイムアウト時間を短くする
```

```
test mail  

aaaaaaaa  

bbbbbbbb  

漢字のテスト %パソコン側でATOKを起動して漢字を入力
```

```
aaaaaaa  

~. %~.を入力してメールを送信する
```

```
EOT  

%
```

```
TELNET>timeout 200 %タイムアウト時間を初期値に戻す  

% math %mathematicaを起動
```

```
Input Your X-server host-name:_  

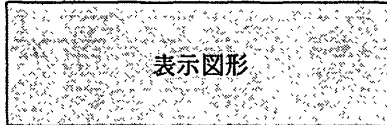
Input <<Tek.m ,when your terminal is Tektro4014/4010 Terminal.
```

Mathematica (sun4) 1.2 (November 6, 1989) [With pre-loaded data]
 by S. Wolfram, D. Grayson, R. Maeder, H. Cejtin,
 S. Omohundro, D. Ballman and J. Keiper
 with I. Rivin and D. Withoff
 Copyright 1988, 1989 Wolfram Research Inc.
 -- Terminal graphics initialized --

In[1]:= <<Tek.m %tektronix4014モードにする
 <<Tek.m

-- Tektronix graphics initialized --

In[2]:= Plot[Sin[x^3], {x, -2, 2}]
 Plot[Sin[x^3], {x, -2, 2}]



Out[2]= -Graphics-

In[3]:= Quit[]
 Quit[]

% exit
 % logout
 READY

%空リターンを入力すると図形が表示される
 %mathematicaを終了する

%UTSをログアウトする

%正常にログアウトするとMSPに戻る

参考文献

1. 武政他 高速多機能TSSPFD端末エミュレータ, 九州大学大型計算機センター広報 Vol. 22, No. 3, 1989, pp. 209-246
2. 二村 UTS-MSP間ファイル転送, 九州大学大型計算機センター広報 Vol. 22, No. 3, 1989, pp. 453-457
3. UTS端末からMSPへのフルスクリーン端末としてのログオン機能のテスト運用について 九州大学大型計算機センターニュース No. 405, 1989

TELNETコマンドの第1バージョンであり, 使いづらいところがあるかも知れません. TELNETコマンドを使われた方は感想, 要望等を下記のメールアドレスにおよせください. できるだけ次のバージョンに反映していきたいと考えています.

A70015A@JPNCCU.BITNET BITNET(MSP)
 a70015a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp JUNET(UTS)

(ネットワーク室 内線2543)

(センターニュースNo.425, 平成2年9月20日発行)

データセットのアクセス管理の強化について

詳細は, 本文P.683を参照のこと.

利用負担金の改訂について

平成2年10月1日から計算機利用負担金の一部が、下表のとおり改訂されましたのでお知らせします。

利 用 負 担 金 表

区 分		現 行 料 金	改 訂 料 金
基本負担金		1件につき 40円 ただし、センター内入出力装置を使用した場合に限る。	同 左
演算負担金		1件のCPU時間（1秒未満は1秒に切り上げる）が、 5分までは1秒につき 5円 5分を超え15分までは 1秒につき 3円 15分を超える場合は 超える部分1秒につき 1円	同 左
入出力負担金	プリンタ出力	1枚につき 4円 100図形文字パターンにつき 1円	同 左 同 左
	XYプロック出力	4,000ステップにつき 1円 10センチメートルにつき 3円	同 左 同 左
	ファイルアクセス	100回につき 1円	同 左
	端末接続	1分につき 1円 ただし、センター内端末利用の場合は1分につき 2円	同 左
	ディスク	200キロバイトにつき1日 1円	同 左
	マスタストレージ	100メガバイトにつき1月 1,000円	同 左
	ワークステーション課金		使用時間1分間につき 3円
各区分共通負担金		各区分に従い算出した利用負担金額を月ごとに集計した合計額に百分の三を乗じて得た額	同 左
備 考 1. 利用負担金請求額に100円未満の端数が生じた場合は、これを100円に切り上げるものとする。 2. 基本負担金に係るセンター内入出力装置は、次のとおりとする。 ラインプリンタ、カードリーダー、磁気テープ装置、XYプロック、グラフィックディスプレイ装置、ハードコピー装置、フロッピーディスク装置			

(システム運用掛 内線2506)

(センターニュースNo.426, 平成2年10月4日発行)

PROPATH (流体の熱物性値プログラム・パッケージ) のバージョンアップについて

標記プログラム・パッケージを平成2年9月8日から第7.1版にバージョンアップしました。PROPATH第7.1版では、新たな物質として、クリプトン、キセノン、アンモニア及びフロン13B1の関数を追加し、第7.1版までに収録されていた物質についても関数の数を若干追加しました。プログラムの構造や使用法は旧版と同じです。

第7.1版のライブラリ・データセット名及びシングルショット・プログラムのソース形式のデータセット名は次のとおりです。

ヘリウム4	LIB. PHE4V71. LOAD
ネオン	LIB. PNEV71. LOAD
アルゴン	LIB. PARGV71. LOAD
クリプトン	LIB. PKRV71. LOAD
キセノン	LIB. PXEV71. LOAD
n-水素	LIB. PH2V71. LOAD
塩素	LIB. PCL2V71. LOAD
酸素	LIB. PO2V71. LOAD
窒素	LIB. PN2V71. LOAD
空気	LIB. PAIRV71. LOAD
二酸化炭素	LIB. PCO2V71. LOAD
水(IFC 1967)	LIB. PH2OV71. LOAD
水(IAPS 1984)	LIB. PHGKV71. LOAD
重水	LIB. PD2OV71. LOAD
アンモニア	LIB. PNH3V71. LOAD
メタン	LIB. PCH4V71. LOAD
エチレン	LIB. PC2H4V71. LOAD
エタン	LIB. PC2H6V71. LOAD
プロピレン	LIB. PC3H6V71. LOAD
プロパン	LIB. PC3H8V71. LOAD
フロン12	LIB. PR12V71. LOAD
フロン13B1	LIB. PR13BV71. LOAD
フロン22	LIB. PR22V71. LOAD
フロン114	LIB. PR114V71. LOAD
フロン502	LIB. PR502V71. LOAD
シングルショット・プログラム	LIB. SSV71. FORT77

詳細については下記のマニュアルを参照して下さい。プログラム相談室及びセンター図書室で閲覧することができます。

参考文献

1. プロバスグループ, 「PROPATH: 流体の熱物性値プログラム・パッケージ第7.1版」
(ライブラリ室 内線2508)
(センターニュースNo 426, 平成2年10月4日発行)

LOCK コマンドの公開について

10月1日(月)から標記コマンドを公開しています。LOCKコマンドは、使用中のTSS端末をロック状態にし、離席時にセッションを他人に使用されることを防ぐためのものです。

使用例

READY

LOCK

...LOCKコマンドの入力。

KEY: _____

...ロック解除のためのキー(8文字以内の英数字)を入力する。

AGAIN: _____

...確認のため、もう一度入力する。

LOCKED.

...ロック状態に入る。

...キーを入力するとロック解除される。

READY

キーの問合せに対し、ENTERキーのみ(または空白)を入力すると登録番号のパスワードがキーとなります(AGAIN:の問合せはありません)。ロック解除のためのキーを忘れてしまった場合は、他の端末から LOGON TSS CANCEL でログオンするか、他のTSSセッションから KILL コマンドを入力して、自分のTSSセッションをキャンセルする必要があります。

(システム管理掛 内線2518)

(センターニュースNo 426, 平成2年10月4日発行)

Mathematicaの正式公開について(UTS)

センターニュースNo. 417でお知らせしたように、標記ソフトウェアを5月21日から暫定公開してきましたが、10月15日から正式公開となります。これまでUTS上で暫定サービスしてきたMathematicaは、一見UTS上で動作しているように見えますが実際にはバックエンドプロセッサSUN4上で動作しています。このため、Mathematicaの正式運用に伴い10月15日よりワークステーション使用料金(3円/分)が課金されます。

なお、現在2階のオープン端末室でサービスしているSUN3については、あくまでも単なるUTS端末との立場から課金しません。

(システム運用掛 内線2506)

(センターニュースNo 426, 平成2年10月4日発行)

xgraphの公開について(UTS)

Xウィンドウのクライアントとして、xgraphを公開しています。

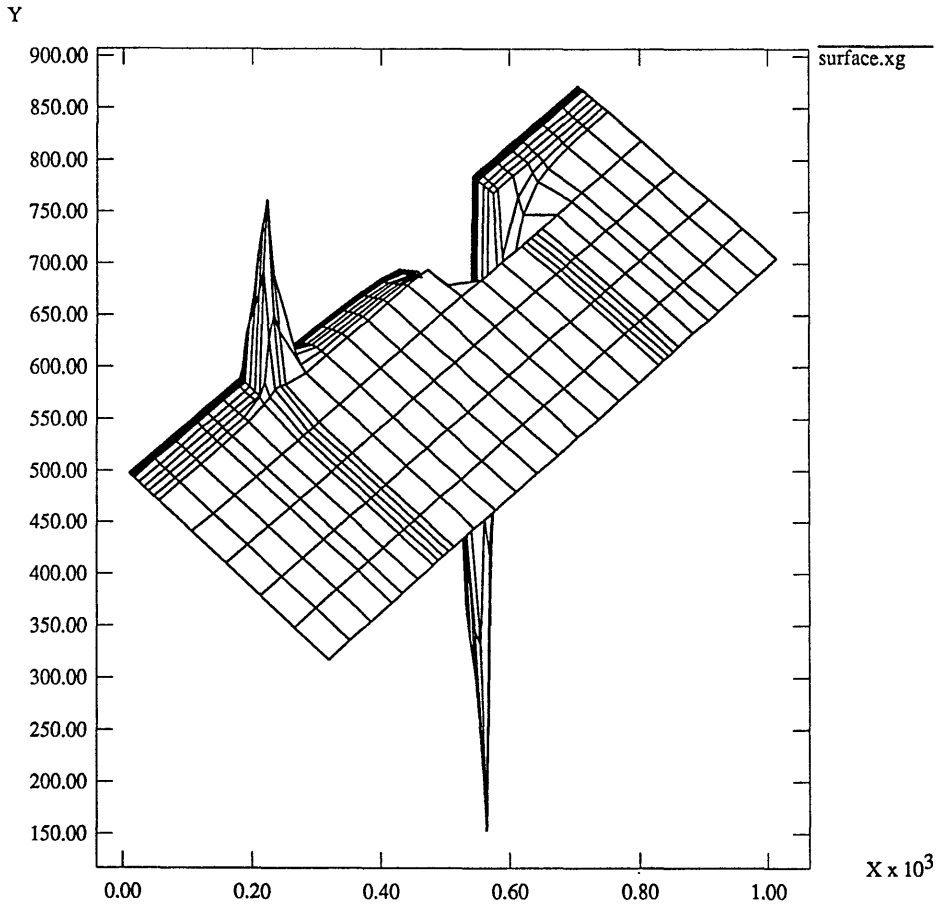
ファイルまたは標準入力からデータを入力してXウィンドウ上に図形表示することが可能です。また描画した図形をファイル、またはPostScriptプリンタに出力することが可能です。

下図はxgraphで描画した図形をセンター2階のPostScriptプリンタに出力したものです。詳細はlman xgraphで参照して下さい。

(ライブラリ室 内線2508)

(センターニュースNo 426, 平成2年10月4日発行)

Surface Plot



利用の手引ネットワーク編（第3版）の発行について

この度、利用の手引ネットワーク編（第3版）を作成しました。この利用の手引は、本センターの大学間コンピュータネットワークのサービスと機能の利用法及びBITNETの利用法について説明したものです。御希望の方は、連絡所を経由して共同利用掛までお申し込みください。

（共同利用掛 内線2515）

（センターニュースNo 426，平成2年10月4日発行）